



学校だより

# 領巾振

いれふり

ともに学び 心がふれあう学校

か 感謝の気持ちあふれる学校  
が 頑張る姿勢に満ちた学校  
み みんなで力を合わせる学校

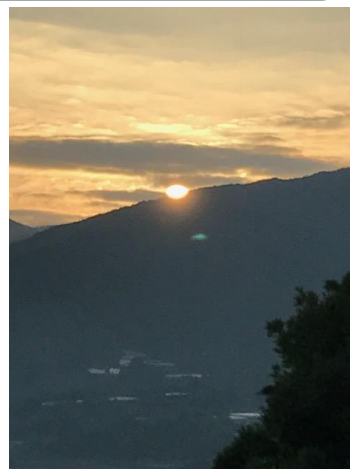
R4. 1. 11. 第 16 号 鏡中学校 校長室

## 希望の年に あけましておめでとうございます

令和 4 年、2022 年が幕を明けました。

今年の干支は壬寅（みずのえとら）。60 年に一度巡ってきます。前回の壬寅は 1962 年（昭和 37 年）で、イギリスのバンド「ザ・ビートルズ」がレコードデビューし、日本でもジャニーズ事務所が創業しました。首都高速 1 号線が開通、東京タワーが完成と高度経済成長期の真っただ中にありました。また、「わかっちゃいるけどやめられない」と植木等が無責任男を演じました。その年の日本レコード大賞は橋幸夫と吉永小百合の「いつでも夢を」でした。

壬寅は生命が誕生し、伸びていくような年になりやすいと言われています。まだまだ新型コロナウイルスの感染の脅威が払拭できませんが、年の変わり目大きな節目です。『希望』をもってこの時期を乗り切ることが大切です。虎のように、しっかりと前を見据えて着実に前に進むこととしましょう。今年もよろしくお願いいたします。



鏡山中腹からの初日の出

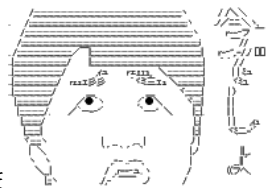
## 一年の計は元旦にあり

明の「万暦」という元号の頃（1573 年～1620 年）に、馮應京（ひょうおうきょう）という学者が書いた本『月令広義（げつりょうこうぎ）』の中に、「一日の計は晨（あした）にあり、一年の計は春にあり、一生の計は勤にあり、一家の計は身にあり」とでています。これが元々の由来とされています。晨（あした）というのは朝のことです。ここでの「春」は年の始めのことです。一日の計画は朝に立てることが肝心。一年の計画は年の初め（元日）に立てることが肝心。一生の計画はきちんと仕事をする事で決まる。一家の計画（将来）は主人の生き方で決まる。という意味ですが、その中の一部が「一年の計は元旦にあり」です。今一度、今年目標を確認しましょう。



## 今今と今という間に今ぞ無く 今という間に今ぞ過ぎ行く

昔から日本人に親しまれている道徳的な、または教訓的な短歌である道歌の一首です。3 学期は「行く月・逃げ月・去る月」であつという間に過ぎ去ります。「今」と口にしようとする瞬間、その「今」はもうすでに「今」ではなく「過去」になっています。今は一瞬にして過去になるということです。だからこそ、思い立ったら即実行に移すことが大切です。また、3 学期は 0 学期とも言われます。来年度のための準備の時期でもあります。3 年生は受験に向けての万全の準備はもちろんのこと、1・2 年生もさらに、より、もっと高いレベルを目指して成長しましょう。そして、3 年生が安心して希望の進路を実現できるような落ち着いた雰囲気を作り上げていきましょう。



## ユニセフ募金にたくさんご協力いただきました

12 月 26 日（日）イオン唐津店で、自分たちの手で未来を創ろうプロジェクトメンバー 9 名が募金活動を行いました。約 1 時間半の活動でしたが、たくさんの方のご協力により、63,875 円（校内での生徒対象募金額と併せて）の募金が集まり、郵便局から日本ユニセフ協会に全額送金しました。メンバーも自己有用感を高め、持続可能な社会の実現に向けて具体的に行動ができたことに、大きな自信を感じていました。 <https://www.unicef.or.jp/special/21win/>  
※ 十分な感染防止対策をお願いします。

